

3. 研究評価

3.1. 気象研究所評議委員会

役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の長期研究計画の策定に関する助言」及び「気象研究所が実施する研究課題の評価に関する報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、特別研究費ならびに気候変動予測研究費による研究課題（特別研究）の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評価委員会」の委員を選出して外部評価を実施している。

平成18年度気象研究所評議委員名簿（所属、役職等は平成18年4月1日現在。五十音順、敬称略）

| | | | |
|-----|-------|--------------|--------------------|
| 委員長 | 田中正之 | 東北工業大学 | 特任教授 |
| 委員 | 石田瑞穂 | (独) 海洋研究開発機構 | 地球内部変動研究センター 特任研究員 |
| | 蒲生俊敬 | 東京大学海洋研究所 | 教授 |
| | 木田秀次 | 京都大学大学院 | 理学研究科 教授 |
| | 小室広佐子 | 東京国際大学 | 国際関係学部 助教授 |
| | 田中 佐 | 山口大学工学部 | 教授 |
| | 泊 次郎 | 元 朝日新聞社 | 編集委員 |
| | 中島映至 | 東京大学 | 気候システム研究センター長 |
| | 廣井 脩 | 東京大学 | 情報学環 教授 |
| | 松山優治 | 東京海洋大学 | 海洋科学部長 |
| | 安成哲三 | 名古屋大学 | 地球水循環研究センター 教授 |
| | 渡辺秀文 | 東京大学 | 地震研究所 教授 |

平成18年度の開催状況

平成18年度は、次のとおり第22回～第24回の評議委員会を開催した。このうち、第23回は東京で開催し、第24回については書面開催とした。

- ・第22回評議委員会 平成18年9月21日
- ・第23回評議委員会 平成18年3月7日
- ・第24回評議委員会 平成19年3月（書面）

第22回評議委員会

日 時： 平成18年9月21日（木） 14:00～17:00

場 所： 気象研究所 第一共用室

出席者

（評議委員）

田中正之 委員長、石田瑞穂 委員、蒲生俊敬 委員、小室広佐子 委員、田中 佐 委員
泊 次郎 委員、中島映至 委員、松山優治 委員、渡辺秀文 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（9名）、他関係官

議事次第

- （1）気象研究所長挨拶
- （2）気象研究所評議委員会委員長挨拶
- （3）議題1：特別研究に関する評価結果について（報告）

- ・事後評価
火山活動評価手法の開発研究
- (4) 議題 2：特別研究に関する評価委員の選出について（協議）
 - ・中間評価
温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究
- (5) 議題 3：気象研究所の独立行政法人化への移行について（懇談）
- (6) その他

会議経過

- ・議題 1 では、特別研究「火山活動評価手法の開発研究（平成 13～17 年度）」の事後評価について、田中委員長よりご報告していただいた。
- ・議題 2 では、特別研究「温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究（平成 17 年～21 年度）」の評価委員に田中委員長、木田委員、小室委員、中島委員、松山委員が選任された。
- ・議題 3 では、気象研究所より独立行政法人への移行について、独立行政法人制度の概要を説明するとともに、今後の移行のあり方について懇談を行った。

第 23 回評議委員会

日 時： 平成 19 年 3 月 7 日（水）13:30～16:30

場 所： 四季交楽「然」

出席者

（評議委員）

田中正之 委員長、蒲生俊敬 委員、小室広佐子 委員、泊 次郎 委員

（気象研究所）

気象研究所長、企画室長、研究評価官、総務部長、各研究部長（8 名）、他関係官

議事次第

- (1) 気象研究所長挨拶
- (2) 気象研究所評議委員会委員長挨拶
- (3) 議題 1：平成 19 年度気象研究所予算内示について（報告）
- (4) 議題 2：融合型経常研究の進捗について（報告）
- (5) 議題 3：新規融合型経常研究について（協議）
 - ・非静力学モデルによるメソ現象の予測と解明に関する研究
 - ・シビア現象の監視及び危険度診断技術の高度化に関する研究
 - ・大気海洋結合季節予測モデルとそのアンサンブル手法の開発
 - ・ユーロゾルと放射過程の観測及びモデル化の研究
 - ・海洋における炭素循環の変動に関する観測的研究 II
- (6) 議題 4：気象研究所の独立行政法人への移行について（懇談）
- (7) その他

会議経過

- ・議題 1 では、気象研究所より平成 19 年度の予算内示額について概要を説明した。
- ・議題 2 では、平成 18 年度に実施した融合型経常研究課題（13 課題）のうち、平成 18 年度に終了する研究課題について成果と内部評価結果について企画室長より説明し、実施内容の質問を受けた。
- ・議題 3 では、平成 19 年度より開始する新規 5 課題の概要を説明し、各研究課題に関し助言をいただいた。評議委員の助言に対しては適宜研究計画に反映することを回答し、新規計画について了承を得た。
- ・議題 4 では、気象研究所の非公務員型独立行政法人への移行の決定をうけ、移行にあたっての基本的な考え方を整理した「独立行政法人気象研究所の中期計画における研究のあり方について

(案)」を気象研究所から報告し、独立行政法人移行に関し助言をいただいた。

第24回評議委員会

報告日：平成19年3月

評議委員：田中 正之 委員長、石田瑞穂 委員、蒲生俊敬 委員、小室広佐子 委員、
田中 佐 委員、泊 次郎 委員、中島映至 委員、松山優治 委員、
安成哲三 委員、渡辺秀文 委員

議事

議題1：特別研究に関わる中間評価結果について（報告）

- ・特別研究「地温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究（平成17～21年度）」の中間評価結果について報告した。

※評議委員会議事概要は気象研究所ホームページ（<http://www.mri-jma.go.jp/>）において公開している。

3.2. 気象研究所評価委員会

役割

気象研究所評価委員会は、気象研究所の実施する研究課題の外部評価を行うために設置されている委員会である。評価委員会の構成員は、評価の対象となる研究課題に応じて、気象研究所評議委員から選出される。

開催状況

平成 18 年度は、特別研究費及び気候変動予測研究費による研究課題の評価として、評価委員会を 2 回開催し、それぞれ 1 課題を評価した。

事後評価

研究課題名： 火山活動評価手法の開発研究
研究期間： 平成 13 年度～平成 18 年度
評価日： 平成 18 年 9 月 15 日
評価委員： 田中正之 委員長、石田瑞穂 委員、小室広佐子 委員、泊 次郎 委員、渡辺秀文 委員
評価結果： 優れた研究であったとの評価となった。

中間評価

研究課題名： 温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究
研究期間： 平成 17 年度～平成 21 年度
評価日： 平成 18 年 3 月 23 日
評価委員： 田中正之 委員長、小室広佐子 委員、中島映至 委員、松山優治 委員
評価結果： 計画の修正は必要なく、継続すべきとの評価となった。

※評価結果は気象研究所ホームページ(<http://www.mri-jma.go.jp/>)において公開している。